

かわさき かわら版

2012夏号

No.6

CONTENTS

●「チーム医療」

副院長 外科部長(総合外科学教授) 猶本 良夫

シリーズ 元気をつくるNo.2

●「下肢静脈瘤を日帰りレーザー治療で治そう」

外科副部長(総合外科学准教授) 森田 一郎

シリーズ チーム医療No.2

●「呼吸サポートチーム(RST)の紹介」

ICU(3学会合同呼吸療法認定士集中ケア認定看護師) 村上 望

●新病院 新築工事ニュースVol.1

新病院着工に向けて 建設予定地の整備が始まる
大学事務局総務部新病院開設準備室

シリーズ よくある医療制度の疑問No.2

●「後期高齢者医療制度ってなに？」

医事課 副主任 武用 恭也

「チーム医療」

最近、「チーム医療」という言葉を耳にしたり、目にしたりすることにお気づきの方も多いかと思います。「チーム医療」という言葉は欧米にはなく日本における造語です。あえて、英語ではTeam approached medicineという訳語になるかと考えられます。言葉の持つ意味は、図のように患者さんを中心にして、医療の専門職、患者さんのご家族がと



もに診断、治療、ケア、予防を行っていくというイメージです。一般に、「医療に従事する多種多様なスタッフが、各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者さんの状況に的確に対応した医療を提供すること」と定義されています。また、この図のように現代の医療はかつての医師を頂点としたピラミッド型のものでなく、各医療専門職が対等な立場で力を合わせ、最高の医療を実践していくことを意味しています。厚生労働省もこの「チーム医療」を推奨し、診療報酬に反映させてきています。その背景にはあまりにも過酷な医師の労働を

本来の医師でなければできない医療に振り向けることと、少ない医療資源を効率的、協動的に生かして行くという狙いもあると言われてしています。それとともに、これまでの「コ・メディカル」という言葉もなくなりつつあります。

当院では、様々な分野において、病院理念にもあるように「医療は患者のためにある」という原点にもどり、この「チーム医療」が生かされています。

皆様とともに、さらに優れたチーム医療を実践して行きたいと考えております。



副院長
外科部長(総合外科学教授)

猶本良夫



シリーズ 元気をつくる No.2 (No.1~No.4)

「下肢静脈瘤を日帰りレーザー治療で治そう」

外科副部長(総合外科学准教授) 森田一郎



下肢静脈瘤は、血管疾患内では最も多い疾患で、加齢とともに個人差はありますがほとんどの人に見られます。症状として、午後から夕方にかけて下肢のだるさ、むくみ、かゆみ、夜中のこむらえりなどがみられます。ほとんどの静脈瘤では自然に治ることなく徐々に病状が進行し、色素沈着を経て、最悪下腿潰瘍にまで至ることがあり注意を要します。

治療としては、弾性ストッキング、硬化療法、ストリッピング術でありましたが、昨年1月よりレーザー治療が保険適応となり、治療の選択肢が1つ増加いたしました。我々も本年より導入いたしました。標準的なレーザー治療は、膝関節辺りの表在静脈穿刺し、静脈内に細いレーザーファイバーを挿入して大腿部のほぼ全長の表在静脈を焼灼して静脈内腔を閉塞させ、静脈瘤への逆流を断つ治療法です。下腿に静脈瘤が目立つ場合は、小切開で静脈瘤切除を追加



いたします。このように低侵襲治療ですので、患者さん達の兼ねてからの強い希望でもありました日帰り手術のための治療です。治療は受けたいが、入院はという患者さんには朗報です。合併症として深部静脈血栓症や静脈穿孔による皮下出血、創痛などがありますが、発生頻度は低率です。患者さんの多くは女性ですので、女性の立場から当科では平林葉子外科医長(総合外科学講師)がスタッフとして加わり、きめ細やかな治療に努めています。日々の明るい生活は、まずは足元からです。

お問い合わせ先… 外科受付(内線3277)

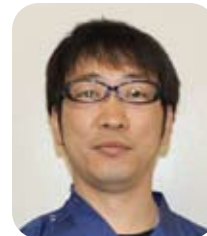


シリーズ チーム医療No.2 (No.1~No.4)

呼吸サポートチーム(RST)の紹介

ICU (3学会合同呼吸療法認定士集中ケア認定看護師)

村上 望



みなさんは「呼吸サポートチーム」若しくは「RST (Respiration Support Team)」という言葉を知っていますか？

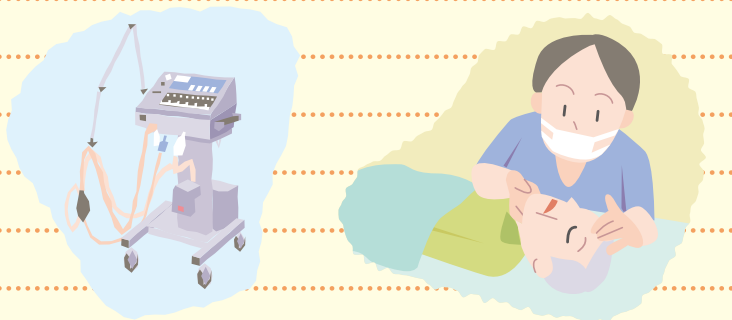
近年「栄養サポートチーム(NST)」や「感染対策チーム(ICT)」については患者さん、医療従事者を中心に市民権を拡大し、活動内容も充実したものとなっています。それでは「呼吸サポートチーム (RST)」とはどのような活動を行い、患者さんにとってどのような医療を提供するチームなのでしょう？

呼吸サポートチーム(以下RST)の介入対象

48時間以上継続して人工呼吸器を装着している患者さんであり、人工呼吸器を装着した状態で一般病棟に入院した日から1ヶ月以内または一般病棟に入院した後に人工呼吸器を装着した場合は、装着から1ヶ月以内の患者さんに限定されています。

活動内容

- 1 人工気道抜管に向けた適切な鎮静や呼吸器の設定について、病棟医を交えた意見交換
- 2 人工呼吸器の安全管理
- 3 口腔内の衛生管理
- 4 適切な排痰管理
- 5 廃用予防
- 6 呼吸器リハビリテーション



※6項目を行うことで人工呼吸器関連肺炎の減少、人工呼吸管理期間の短縮、再挿管率の減少等が期待されています。

チーム編成は厚生労働省より施設基準として定められており、「人工呼吸器管理等について十分な経験のある医師」として麻酔・集中治療科の医師を中心に、「呼吸器リハビリテーション等の経験を5年以上有する理学療法士」、「人工呼吸器等の保守点検の経験を3年以上有する臨床工学技士」、「5年以上呼吸ケアに従事し、人工呼吸器管理等について6か月以上の専門の研修を修了した看護師(すなわち「集中ケア認定看護師」教育課程を修了した看護師)」、その他にも呼吸療法認定士の資格を有する病棟リンクナース、歯科衛生士、事務職員で構成されています。

人工呼吸器管理を必要とする患者さんが一般病棟で発生した場合、MEセンターから人工呼吸器の貸出が行われます。その後、臨床工学技士からRSTへ連絡があり、上記メンバーが集合して病棟リンクナースから事例報告が行われた後、症例に対して医師、看護師、歯科衛生士、理学療法士、臨床工学技士それぞれの立場から検討するミーティングが開催されます。ディスカッション内容は、主治医に対しては麻酔・集中治療科医師から、ケアの方法については総合した提案をRST看護師から直接助言することで組織横断的な診療支援を行っています。今後も患者さんの療養中の呼吸管理から退院後のQOL維持までを念頭に置き、状況が許す限り対象病棟に出向き、ケア実践やアドバイスを行っていかうと考えています。



新病院着工に向けて 建設予定地の整備が始まる

平成24年2月から岡山中央南（旧深砥）小学校跡地の既存校舎等の解体工事が始まりました。解体作業は順調に進み、4月からは並行して埋蔵文化財の発掘調査を行っています。発掘調査終了しだい、新病院建築工事着工に取りかかれるように準備を進めています。

工事期間内は、近隣の皆さまには、ご迷惑をお掛けすることになりますが、新病院開院に向け、ご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

今後、新築工事の近況を皆さまに「かわさきかわら版」を通じてお知らせしていきたいと思っております。



▲建設予定地の岡山中央南（旧深砥）小学校跡地風景



▲解体作業工事



シリーズ よくある医療制度の疑問No.2 (No.1~No.4)

後期高齢者医療制度ってなに？

医事課 副主任 武用恭也

この制度は、国民の安心の基盤である皆保険制度を維持し、将来にわたり持続可能なものとするために新たな医療制度として75歳（一定の障害がある人は65歳）以上を対象としています。

後期高齢者の自己負担について

平成24年4月から、受診の時に、「後期高齢者医療被保険者証」や「限度額適用・標準負担額減額認定証」を提示することにより、同月内の同一保険医療機関の窓口でのお支払いが、自己負担限度額（表1）までになります。

- 所得区分が「現役並み所得者」「一般」の方
 - ・・・「後期高齢者医療被保険者証」の提示
- 所得区分が「低所得者Ⅱ」「低所得者Ⅰ」の方
 - ・・・「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」の提示

ただし、「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付には事前の申請が必要です。

『後期高齢者医療被保険者証』・『印鑑』を持って、お住まいの市町村役場の担当係へ申請してください。

なお、保険者証等は毎月1回受診の時に、外来受付又は外来計算の窓口へご提示ください。

(表1) 後期高齢者の自己負担限度額

対象者 (所得区分)	自己負担限度額 (月額)		
	世帯単位 (入院・外来)	個人単位 (外来のみ)	多 数 該 当 者
現役並み 所得者	80,100円+ (医療費-267,000円) ×1%	44,400円	44,400円
一 般	44,400円	12,000円	
低所得者Ⅱ	24,600円	8,000円	
低所得者Ⅰ	15,000円	8,000円	

お問い合わせ先 … 医事課 外来計算 (内線3254・3256)



川崎医科大学附属
川崎病院

〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下2-1-80
TEL. (086) 225-2111 (代) FAX. (086) 232-8343

病院庶務課庶務係 (内線) 3316, 3318
http://www.kawasaki-m.ac.jp/kawasakihp/
E-mail: kwsyomu@med.kawasaki-m.ac.jp

